

野菜の生育状況及び価格見通し（平成26年10月）について  
 （東京都中央卸売市場における主産県及び卸売会社からの聞き取りによる）

（総論）

品目	現在の生育状況
根菜類 （だいこん、にんじん）	生育は、概ね順調。
葉茎菜類 （はくさい、キャベツ等）	生育は、概ね順調。 キャベツにあつては、9月中旬頃までの日照不足や低温に伴う生育遅れの影響が残っており、未だ小玉傾向。
果菜類 （きゅうり、なす等）	ピーマンの生育が概ね順調であるほかは、全般的に、8月中旬以降の日照不足等で生育遅れ。
土物類 （ばれいしょ、さといも、たまねぎ）	生育は、概ね順調。

（各論）

品目	主産県 ※（ ）書きは 昨年10月の入荷 シェア。	今後の生育及び出荷見通し	価格見通し （平年比）	
			10月前半	10月後半
だいこん	北海道(36%) 青森(34%)	・前半にあつては、北海道等の産地で生育は概ね順調であり、後半にあつても、後続の秋産地（関東）で生育が順調であることから、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→
にんじん	北海道(92%)	・生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→

はくさい	長野(74%) 茨城(13%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>前半にあつては、関東高冷地で、9月下旬に入ってから、気温の上昇や適度な降雨があつたことで生育が回復傾向にあり、後半にあつても、後続の秋産地（関東）で生育が順調であることから、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。</li> </ul>	→	→
キャベツ	群馬(57%) 千葉(13%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>前半にあつては、関東高冷地で、9月中旬頃までの日照不足や低温に伴う生育遅れの影響が残っており、未だ小玉傾向となっていることから、<u>出荷数量が平年を下回る</u>ため、<u>価格は平年を上回る</u>見込み。</li> <li>後半にあつては、後続の秋産地（関東）で生育は順調であることから、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>に回復する見込み。</li> </ul>	↗	→
ほうれんそう	群馬(41%) 茨城(16%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>総じて生育は概ね順調であるものの、群馬県においては2月の大雪による栽培用ハウスの倒壊の影響で作付が減少しており、<u>出荷数量が平年をやや下回る</u>が、<u>価格は概ね平年並</u>になる見込み。</li> </ul>	→	→
ねぎ	青森(24%) 北海道(15%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>前半にあつては、東北産地で、9月に入り、天候が回復したため、生育が順調となり、<u>出荷数量が平年を上回る</u>ため、<u>価格は平年を下回る</u>見込み。</li> <li>後半にあつては、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。</li> </ul>	↘	→
レタス	茨城(62%) 長野(24%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>関東高冷地で9月下旬に入ってから、気温の上昇や適度な降雨があつたことで、生育が回復傾向にあることに加え、後続の秋産地（関東）も生育が順調であることから、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。</li> </ul>	→	→
きゅうり	埼玉(27%) 群馬(24%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>総じて8月中旬以降の日照不足等で生育が遅れていることに加え、群馬県・埼玉県においては2月の大雪による栽培用ハウスの倒壊の影響で作付が減少しており、<u>出荷数量が平年をやや下回る</u>が、<u>価格は概ね平年並</u>になる見込み。</li> </ul>	→	→

なす	高知(35%) 栃木(19%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>前半にあつては、関東産地で、8月中旬以降の日照不足等で生育が遅れていることから、<u>出荷数量が平年をやや下回る</u>が、<u>価格は概ね平年並</u>になる見込み。</li> <li>後半にあつては、8月中旬以降の日照不足等で後続の秋産地（四国）で生育が遅れており、<u>出荷数量が平年を下回る</u>ため、<u>価格は平年を上回る</u>見込み。</li> </ul>		
トマト	千葉(22%) 茨城(16%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>前半にあつては、10月に入り出荷の中心となる関東産地で、8月中旬以降の日照不足等で生育が遅れており、<u>出荷数量が平年を下回る</u>ため、<u>価格は平年を上回る</u>見込み。</li> <li>後半にあつては、後続の秋産地（九州）で生育は概ね順調であり、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。</li> </ul>		
ピーマン	茨城(55%) 岩手(17%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生育は概ね順調であり、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。</li> </ul>		
ばれいしょ	北海道(100%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>収量は平年を上回り、<u>出荷数量が平年を上回る</u>ため、<u>価格は平年を下回る</u>見込み。</li> </ul>		
さといも	埼玉(49%) 千葉(25%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生育は概ね順調であり、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。</li> </ul>		
たまねぎ	北海道(91%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>収量は概ね平年並であり、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。</li> </ul>		